

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : インサル®キソッシュMORE 下塗材セット(粉体)
推奨用途及び使用上の制限 : 住宅基礎仕上塗材の下塗り材用粉体
会社名 : 株式会社 エービーシー商会
住所 : 東京都千代田区永田町2-12-14
担当部門 : インサル事業部
電話番号 : 03-3507-7390
FAX番号 : 03-3507-7352

整理番号 IKM-SF-001

作成 2021年3月26日

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性
皮膚腐食性・刺激性 : 区分 1
眼に対する重篤な損傷性・刺激性 : 区分 1
生殖細胞変異原性 : 区分 2
発がん性 : 区分 1A
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露） : 区分 3（気道刺激性）
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露） : 区分 1（呼吸器、免疫系、腎臓）
環境有害性 :
水生環境慢性有害性（長期間） : 区分 4

GHS ラベル要素



注意喚起語
危険有害性情報

危険
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
遺伝性疾患のおそれの疑い
発がんのおそれ
吸入した場合臓器（呼吸器系）の障害のおそれ
長期にわたるまたは反復暴露による臓器
（呼吸器、免疫系、腎臓）の障害のおそれ
長期継続的影響によって水生生物に有害のおそれ

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

屋外又は換気の良い区域でのみ使用し、ばく露を避けること。
粉塵／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
この製品を使用する時に飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

【救急処置】

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに、汚染された衣服を脱ぐこと。皮膚を流水で洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合は、洗濯すること。

目に入った場合：水で15分以上注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。

曝露又は曝露の懸念があり、気分が悪い場合：医師の診断／手当てを受けること。

【保管】

部外者が触れないような処置をし、保管すること。

水分・湿気に注意し、乾燥した場所に保管する。極力、粉塵が立たないようにする。

【廃棄】

内容物/容器を国/都道府県・市町村の規則に従って破棄すること。

3. 組 成 及 び 成 分 情 報

物質の特定

単一製品・混合物：混合物

一般名：セメントモルタル

組成

成 分	含有量%	CAS No.	官報公示整理番号（化審法）
ポルトランドセメント	非公開	65997-15-1	-
珪砂（SiO ₂ ）	非公開	14808-60-7	(1)-548
酸化チタン	非公開	13463-67-7	(1)-558
酸化鉄	非公開	-	-

4. 応 急 措 置

吸入した場合：速やかに新鮮な空気のある場所に移し、咳等が治らなければ医療処置を受ける。

皮膚に付着した場合：速やかに水で洗い流し、必要に応じて医療処置を受ける。

- 眼に入った場合 : 速やかに清浄な水で15分以上洗眼した後、状況に応じ医療処置を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 水で口の中を洗浄した後、医師の処置を受ける。
被災者の意識が朦朧としている場合、意識が無い場合は、無理に吐かせないで、速やかに医療処置を受ける。

5. 火 災 時 の 措 置

- 消火方法 : 不燃物質であるため必要としない。
- 使ってはならない消火剤 : 情報なし

6. 漏 出 時 の 措 置

漏出時には、できるだけ粉体の状態で回収する。

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 回収作業には、保護手袋、保護長靴、保護メガネ、保護マスク等の保護具を着用する。

- 環境に対する注意事項 : 粉じんが飛散しないようにする。
: 濃厚な洗浄水は中和、希釈処理等により、河川等に直接流出しないように対策をとる。

- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 漏出、飛散した場合には、掃除機、スコップ、箒等により、できるだけ粉体の状態で回収し、廃棄まで容器で保管する。やむをえず床面等に残ったものは、水で洗浄する。洗浄水は回収し、中和処理等により適切に処理する。
: 回収物や回収した洗浄水は、1 3. 廃棄上の注意に従い、廃棄または排水する。

7. 取 扱 い 及 び 保 管 上 の 注 意

取扱い

- 技術的対策 : 眼、皮膚等への接触を避けるため、適切な保護具（保護手袋、保護衣、保護長靴、保護眼鏡、防塵マスク等）を着用する。
取り扱い後は顔、手、口等を水洗いする。
- 局所排気・全体換気 : 屋内で取り扱う場合は、換気に注意する。
- 安全取扱い注意事項 : みだりに粉塵が発生しないように取り扱う。
アルカリ性の製品なので、酸性の製品との接触を避ける。
- 注意事項 : 破袋等につながるような粗暴な取扱いをしない。

保管/安全な保管条件

- 混触禁止物質との分離 : 水と接触のおそれがない場所に貯蔵すること。
- 適切な保管場所や避ける : 乾燥した場所に保管する。

べき保管条件

推奨する容器包装材料

： 防湿性の容器

保管方法

： 施錠その他の方法で、部外者が触れない措置を講ずること。

8. ば く 露 防 止 措 置

設備対策

： 室内で取り扱う場合は管理濃度以下にするために十分な能力有する換気設備を備える。
： 多量に取り扱う場合は集塵機を設置する。
： 飛散しないよう集塵機にて回収し、吸入しない措置を取る。

保護具

： 状況に応じ保護眼鏡、防塵マスク、保護手袋、保護衣、保護長靴
を使用する。

管理濃度

： 0.05 mg/m^3 （労働安全衛生法 作業環境評価基準）
 $E=3.0/(1.19Q+1)$
Eは管理濃度（ g/m^3 ）、Qは遊離けい酸含有率（%）を表す。

許容濃度

Qは二酸化ケイ素の最大含有量50%を算出に用いた
： 吸入性粉塵 0.03 mg/m^3 結晶質シリカとして（日本産業衛生学会2019年度）

9. 物 理 / 化 学 的 性 質

物理的状态

： 固体

形状

： 粉体

色

： 白色及び多色粒子の混合物

臭い

： 無臭

pH

： 水と接触すると12～13

物理的状态が変化する

： 情報なし

特定の温度/温度範囲

引火点

： 関係なし

爆発特性

： 情報無し

溶解性

： 水に難溶

その他

： 爆発性なし、水硬性

10. 安 定 性 及 び 反 応 性

可燃性

： なし

発火性

： なし

（自然発火性、水との反

応)

自己反応性、爆発性	: 通常の条件では危険な反応は起こらない。
安定性	: 水と反応して安定固化する。
危険有害性反応可能性	: 該当しない。
	: 製品中の珪砂 (SiO ₂) は強酸化剤と反応し火災や爆発の危険をもたらす。また水酸化アルカリ、フッ化、水素、フッ酸等と危険な反応を生じる。
危険有害な分解生成物	: 該当しない

11. 有 害 性 情 報

皮膚腐食性・刺激性：区分1

水と接触すると強アルカリ性 (pH12~13) を呈し、そのために眼、鼻、皮膚に対し刺激性があり、眼の角膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を起こす可能性がある。酸化鉄はヒトの皮膚に発赤が生じ、中程度の刺激がある (区分2)。以上より区分1とした。

(参考) 混合物のpHが2以下又は11.5以上の場合には、腐食性物質 (皮膚区分1) に分類する。

眼に対する重篤な損傷性・刺激性：区分1

水と接触すると強アルカリ性 (pH12~13) を呈し、そのために眼、鼻、皮膚に対し刺激性があり、眼の角膜、鼻の内部組織、皮膚に炎症を起こす可能性がある。また酸化鉄は眼に腐食性がある。以上より区分1とした。

(参考) pH2以下又はpH11.5以上の極端なpHは、特に酸又はアルカリ残基の評価と組合せると、強力な局所作用を持つことを示唆している。そのような物理化学的性質を示す化学物質は、眼に対する重篤な損傷性物質であるとみなすことが望ましい (区分1)。

呼吸器感作性又は皮膚感作性：

データ不足のため分類できない

極微量のクロム化合物が含まれており、六価クロムに対して過敏である場合にアレルギーが起こる可能性がある。

発がん性：区分1A

二酸化ケイ素 (結晶質シリカ) 含有しているため区分1Aに分類した。

(参考) 結晶質シリカはIARC区分1A (ヒトに対して発がん性がある。) に分類される。

ポルトランドセメントは、ポルトランドセメントの粉じんを吸入したコンクリートやセメントを扱う職人、セメント工場作業員など対象とした疫学研究結果では、肺がん、又は他臓器のがん (膀胱

がん、胃がん、結直腸がん等) による死亡率の増加、又は標準化罹患比 (SIR) の増加がみられたとする報告が複数ある一方で、肺がんも他臓器のがんも併せて発がんの増加は認められないとの報告もあり、概して発がん頻度とばく露濃度との相関性解析結果が欠落している (ACGIH (7th, 2010))。

呼吸器系がんに対しても、全ての研究報告が喫煙による影響を十分に排除して評価されているわけでもないことから、ACGIHは本物質ばく露による発がん性影響は一貫性に欠け、A3に分類するには証拠が不十分であるとして、本物質 (アスベストを含まず、結晶性シリカが1%未満のポルトランドセメント) をA4に分類した (ACGIH (7th, 2010))。この他、他の国際機関等による発がん性評価は行われておらず、以上を踏まえ、ポルトランドセメントはデータ不足のため「分類できない」とされている。

生殖細胞変異原性：二酸化ケイ素（結晶質シリカ）含有しているため区分2に分類した。

特定標的臓器毒性（単回暴露）：区分3（気道刺激性）

ポルトランドセメントは、気道刺激性があるとの報告がある（区分3）。酸化鉄はヒトで咳きが見られ、息苦しさもあるとの記載がある（区分3）。以上より区分3とした。

特定標的臓器毒性（反復暴露）：区分1（呼吸器、免疫系、腎臓）

多量に長時間吸収すると「じん肺」になるおそれがある。

ポルトランドセメント、酸化チタン、酸化鉄を含有しており、区分1（呼吸器）とした。

二酸化ケイ素を含有しており、区分1（呼吸器、免疫系、腎臓）とした。

吸引性呼吸器有害性：データなし

12. 環 境 影 響 情 報

環境影響・生態毒性：接触水はアルカリ性（pH12～13）を呈するから環境に影響を及ぼさないように注意する。土と混合した改良土からは、土壤環境基準を超える六価クロムが溶出する場合があるので、事前に試験を行い、溶出量を確認する。

残留性・分解性：情報なし

生態蓄積性：水生環境有害性（長期間）
酸化チタンは、水溶解度までの濃度で急性毒性が報告されていないが、金属化合物であり水中での挙動が不明であるため、区分4とした。

土壤中の移動性：情報なし

13. 廃 棄 上 の 注 意

残余廃棄物：

固化後、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき廃棄する。

洗浄水の排水は水質汚濁防止法等の関連法令に適合するように十分留意しなければならない。処理等を外部の業者に委託する場合は、都道府県知事等の許可を受けた産業廃棄物処理業者に産業廃棄物管理表（マニフェスト）を交付して委託し、関係法令を遵守して適正に処理する。

汚染容器及び包装：

汚染容器及び包装は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に従い処分する。

14. 輸 送 上 の 注 意

国際規則

海上規則情報 非危険物

航空規則情報 ICAO/IATAの規則に従う。

国際規制によるコード及び分類に関する情報国際規制：該当しない

国内規制

陸上規則情報 特段の規則はない

海上規制情報 非危険物

航空規制情報 航空法の規定に従う。

輸送の特定の安全対策及び条件

粉塵のたたない方法で輸送する。

破袋、損傷、容器からの漏れ、荷崩れ等の防止を確実に行う。

湿気、水濡れに注意する。

15. 適 用 法 令

労働安全衛生法（粉塵障害防止規則）

労働安全衛生法第57条 表示対象物質 ポルトランドセメント、二酸化珪素、酸化チタン、酸化鉄

労働安全衛生法第57条の2 通知対象物質 ポルトランドセメント、二酸化珪素、酸化チタン、酸化鉄

労働安全衛生法第57条の3 リスクアセスメントを実施すべき危険有害物
ポルトランドセメント、二酸化珪素、酸化チタン、酸化鉄

じん肺法

廃棄物の処理及び清掃に関する法律

化学物質管理促進法 : 第一種、第二種指定化学物質に該当しない

毒物及び劇物取締法 : 該当しない

16. そ の 他

推奨する用途と制限 : 住宅基礎仕上塗材の下塗材用粉体

記載内容の問合せ先 : 東京都千代田区永田町2-12-14
(株) エービーシー商会・インサル事業部
電話番号 03-3507-7390 F A X 番号 03-3507-7352

発行又は改訂の理由 : 新商品発売における発行

引用文献 : (社)日本塗料工業会編「原材料物質データベース」
(社)日本塗料工業会編「GHS対応 MSDS・ラベル作成ガイドブック 第3版」
製造メーカーからのSDS情報

本データシートは、作成時または改定時において、製品及びその含有成分等に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱情報等)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。
本製品を当社が認めた材料以外のものと混和、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : インサル®キシソッシュMore 下塗材セット(混和剤)
推奨用途及び使用上の制限 : 住宅基礎仕上塗材の下塗り材用混和剤
会社名 : 株式会社エービーシー商会
住所 : 東京都千代田区永田町2-12-14
担当部門 : インサル事業部
電話番号 : 03-3507-7390
FAX番号 : 03-3507-7352

整理番号 : IKM-SK-001

作成 2021年3月26日

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 分類基準に該当しない
GHS 分類に該当しない他の有害性 : 皮膚に付着したままにすると延焼を起こす場合がある。
物理化学的危険性 : 水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である

3. 組成及び成分情報

物質の特定
単一製品・混合物 : 混合物
化学名 : アクリル・アクリロニトリル共重合体水性エマルジョン

成分	含有量%	CAS No.	官報公示整理番号 (化審法)
アクリル・アクリロニトリル共重合体	44.9	25776-29-8	(6)-476
鉱油	0.1	非公開	非公開
水	55.0	7732-18-5	対象外

4. 応 急 措 置

- | | |
|-----------|---|
| 吸入した場合 | : 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移す。保温して安静に保つ。速やかに医師の診断、手当てを受けること。 |
| 皮膚に付着した場合 | : 付着した衣服、靴を脱ぎ、付着部を拭き取り、水と石鹸でよく洗う。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断手当てを受けること。 |
| 眼に入った場合 | : 清浄な水で最低15分間以上目を洗浄した後、直ちに眼科医の診断、手当てを受けること。 |
| 飲み込んだ場合 | : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師の診断、手当てを受けること。 |
-

5. 火 災 時 の 措 置

- | | |
|-------------|---|
| 使用可能消火剤 | : 水、強化液、泡消火剤、粉末消火剤 |
| 使ってはならない消火剤 | : 情報なし |
| 特有の消火方法 | : このもの自体には可燃性はないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。消火作業は、可能な限り風上から行う。
火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。
火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。 |
| 消火を行う者の保護 | : 容器周辺が火災のときは、容器を安全な場所に移動する。
移動
できないときは、容器に水を注水して冷却する。
: 消火作業の際には有毒なガスを吸い込まないように呼吸保護具を着用し、風上から消火作業を行う。 |
-

6. 漏 出 時 の 措 置

- | | |
|--------------------------|--|
| 人体に対する注意事項、
保護具及び緊急措置 | : 曝露防止のため、保護具を着用して作業を行い、蒸気の吸入や皮膚への接触を防止する。漏出した場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止する。近辺の着火源を取り除き、消火機材を準備する。 |
| 環境に対する注意事項 | : 本製品を含む廃水の公共用水域への排出又は地下浸透を防止するため、本製品がこぼれた床面などを水で洗い流してはならない。 |
| 除去方法 | : 少量の場合はおが屑、土砂、パーライト等を混ぜモルタル状として凝固回収する。多量の場合は土砂などで流れを止め、バキューム等で汲み上げ回収する。 |
| 二次災害の防止策 | : 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。 |

7. 取 扱 い 及 び 保 管 上 の 注 意

取扱い

- | | |
|-----------|---|
| 技術的対策 | : 着衣、皮膚、粘膜に触れたり、眼に入らないように適切な保護具を着用する。 |
| 局所排気・全体換気 | : 取り扱う場合は、局所排気内、又は全体換気の設備のある場所で取り扱う。 |
| 注意事項 | : 設備を密閉化し、蒸気が発生しないように取り扱う。 |
| 安全取扱い注意事項 | : 曝露防止のため、保護具を着用して作業を行う。蒸気の吸入、皮膚への接触を避ける。作業場の換気を十分行う。 |

保管

- | | |
|-----------|--|
| 適切な保管条件 | : 凍結、直射日光を避け、涼しい所、換気の良い場所で容器を密閉し保管する。保管時の温度は5℃以下あるいは35℃以上にならないようにする。皮張り防止のため、使用後は密封して貯蔵する。 |
| 安全な容器包装材料 | : 不浸透性のもの、腐食、破損のないものを使用する。 |
-

8. ば く 露 防 止 措 置

- | | |
|------------|--|
| 設備対策 | : 密閉された装置、機器又は局所排気装置を使用する。
: 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。 |
| 管理濃度 | : 未設定 |
| 許容濃度 | : 未設定 |
| 日本産業衛生学会 | : 未設定 |
| ACGIH | : 未設定 |
| 保護具 | |
| 呼吸の保護具 | : 情報なし |
| 手の保護具 | : ゴム手袋 |
| 目の保護具 | : 側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡 |
| 皮膚及び身体の保護具 | : 作業衣、安全靴 |
| 適切な衛生対策 | : 作業中は飲食、喫煙はしない。 |
-

9. 物 理 / 化 学 的 性 質

- | | |
|--------|--------------|
| 形状 | : 液体（エマルション） |
| 色 | : 乳白色 |
| 臭い | : 特異臭 |
| pH | : 6.5 |
| 融点/凝固点 | : データなし |
| 沸点 | : 約100℃ |
| 引火点 | : なし |
| 発火点 | : データなし |
| 爆発範囲 | : なし |
| 蒸気圧 | : データなし |
| 蒸気密度 | : データなし |

比重	: 約1.01 (20℃)
溶解性 水溶解性	: 水に分散
オクタノール/水分配係数	: データなし
分解温度	: データなし
粘度	: 45mPa・s (25℃)

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 特記すべき反応性はない。
避けるべき条件	: 凍結
混触危険物質	: データなし
危険有害性のある分解生成物	: データなし

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	: 情報なし
急性毒性（経皮）	: 情報なし
急性毒性（吸入：ガス）	: 情報なし
急性毒性（吸入：蒸気）	: 情報なし
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）	: 情報なし
皮膚腐食性/刺激性	: 情報なし
眼に対する重篤な損傷/刺激性	: 情報なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: 情報なし
生殖細胞変異原性	: 情報なし
発がん性	: 情報なし
生殖毒性	: 情報なし
特定標的臓器/全身毒性-単回暴露	: 情報なし
特定標的臓器/全身毒性-反復暴露	: 情報なし
吸引性呼吸器有害性	: 情報なし

12. 環境影響情報

水生環境有害性（急性）	: 情報なし
水生環境有害性（慢性）	: 情報なし

13. 廃棄上の注意

① 産業廃棄物（廃油）として都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

- ② 乾燥して固形状になったものは廃プラスチック類として処理する。
③ 空容器を廃棄する時は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸 送 上 の 注 意

注意事項

取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器漏れのない事確かめ、転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行うこと。

国内規制 : 特段の規制はない。
国連分類 : 国連勧告の定義上危険物に該当しない。
海洋汚染物質 : 非該当

15. 適 用 法 令

化学物質管理促進法	該当しない
労働安全衛生法	法第57条の2 通知対象物 鉱油

16. そ の 他

推奨する用途と制限	: 住宅基礎仕上塗材の下塗材用混和剤
記載内容の問合せ先	: 東京都千代田区永田町2-12-14 (株) エービーシー商会・インサル事業部 電話番号 03-3507-7390 F A X 番号 03-3507-7352
発行又は改訂の理由	: 新商品発売における発行
引用文献	: (社)日本塗料工業会編「原材料物質データベース」 (社)日本塗料工業会編「GHS対応 MSDS・ラベル作成ガイドブック 第3版」 製造メーカーからのSDS情報

本データシートは、作成時または改定時において、製品及びその含有成分等に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱情報等)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものと混和、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : インサル®キソッシュMore上塗り材(トップコート)
 推奨用途及び使用上の制限 : 住宅基礎仕上塗材のトップコート
 会社名 : 株式会社 エービーシー商会
 住所 : 東京都千代田区永田町2-12-14
 担当部門 : インサル事業部
 電話番号 : 03-3507-7390
 FAX番号 : 03-3507-7352

整理番号 : IKM-T-001

作成 2021年3月19日

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

急性毒性

経口

区分外

経皮

区分外

吸入 : 気体

分類できない

吸入 : 蒸気

区分外

吸入 : 粉じん又はミスト

分類できない

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

分類できない

眼に対する重篤な損傷性又は

分類できない

眼刺激性

呼吸器感作性

固体/液体

区分外

気体

分類できない

皮膚感作性

区分外

生殖細胞変異原性

区分2

発がん性

区分1 A

生殖毒性

区分外

授乳に対する又は授乳を介した影響

分類できない

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

区分2

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

区分1

露)

吸引性呼吸器有害性

区分外

水生環境有害性(急性)

分類できない

水生環境有害性(慢性)

区分外

オゾン層への有害性

分類できない

特定標的臓器毒性 : 危険有害性情報

(単回ばく露)

区分1

-

区分2

臓器 (中枢神経系, 腎臓, 血液系) の障害のおそれ

区分3

-

反復ばく露	区分 1	長期にわたる，又は反復暴露による臓器（腎臓，免疫系）の障害
	区分 2	－
	区分 3	－

GHS ラベル要素
絵表示

注意喚起語 危険
危険有害性情報 発がんのおそれ
臓器の障害のおそれ
遺伝性疾患のおそれの疑い
長期にわたる，又は反復ばく露による臓器の障害

注意書き

【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。
全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は…よく洗うこと。
この製品を使用するときに，飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

【応急措置】

吸入した場合：被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移す。
皮膚に付着した場合：付着した衣類、靴を脱ぎ、付着部を拭き取り、水と石鹸でよく洗う。皮膚刺激が生じた場合医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合：清浄な水で最低 15 分間以上目を洗浄した後、直ちに眼科医の診断、手当てを受けること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

産業廃棄物として都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に委託処理する。
内容物／容器を法令に従って適切に廃棄すること。

3. 組 成 及 び 成 分 情 報

物質の特定

単一製品・混合物 : 混合物

組成及び成分情報

成 分	含有量%	CAS No.	官報公示整理番号 (化審法)
水	30-40	7732-18-5	—
アクリル・スチレン共重合体	20-30	非開示	—

結晶性シリカ	15-20	14808-60-7	(1)-548
炭酸カルシウム	10-15	471-34-1	(1)-122
酸化チタン	5-10	13463-67-7	(1)-558
エチレングリコール	1.5-2.5	107-21-1	(2)-230
2,2,4-トリメチルペンタン-1,3-ジオールモノイソブチレート	1-2	25265-77-4	2-(6)-1914
非イオン性界面活性剤	0.2 未満	非開示	—
特殊ホリカルボン酸型高分子界面活性剤	0.2 未満	非開示	—
有機窒素系化合物	0.1 未満	非開示	—
チアゾリン化合物	0.1 未満	非開示	—
デカン二酸ビス[2,2,6,6-テトラメチル-1-(オクチルオキシ)ピペリジン-4-イル]	0.1 未満	非開示	—
アンモニア水	0.1 未満	1336-21-6	(1)-314
珪砂	15-20	非開示	—

4. 応 急 措 置

- 吸入した場合：蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の新
鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
症状が改善しない場合は、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合：付着物を布にて素早くふき取る。
大量の水及び石鹼又は皮膚用の洗剤を使用して十分に洗い落とす。
溶剤、シンナーは使用しないこと。
外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには
医師の診断を受けること。
- 眼に入った場合：直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
まぶたの裏まで完全に洗うこと。
できるだけ早く医師の診断を受けること。
- 飲み込んだ場合：誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受ける
と。
嘔吐物は飲み込ませないこと。
医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5. 火 災 時 の 措 置

使用可能消火剤 : すべての消火剤
 消火方法 : 消火方法このものの自体に可燃性はない。
 周辺火災に対応して、消火活動を行う。

6. 漏 出 時 の 措 置

人体に対する注意事項、
 保護具及び緊急措置 : 作業の際には適切な保護具(保護手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
 屋内では換気をしっかり行う。屋外の場合には、できるだけ風上から作業を行う。
 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項 : 河川への流出等により、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材 : 漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。
 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。
 スコップ・ウエス等で回収する。大量の流出には盛土などで流出を防ぐ。
 水での洗浄なども、河川等への流出、環境汚染を引き起こす恐れもあり注意する。

7. 取 扱 い 及 び 保 管 上 の 注 意

取扱上の注意 : 換気の良い場所で取り扱う。容器はその都度密栓する。
 皮膚、粘膜、又は着衣に触れたり、目に入らぬよう保護具を着用する。
 過去にアレルギー症状を発症している人は取り扱わないこと。

保管上の注意 : 日光の直射を避ける。通風のよいところに保管する。
 盗難防止のために施錠保管する。
 子供の手の届かないところに保管する。

8. ば く 露 防 止 措 置

管理濃度及び許容濃度(危険有害性物質を対象)

成分名	管理濃度	ACGIH(TLV)
酸化チタン		10mg/m ³
炭酸カルシウム		10mg/m ³
酸化第二鉄(赤色酸化鉄)	2.9(Fe)mg/m ³	10 (Fe) mg/m ³
水和酸化第二鉄(黄色酸化鉄)	2.9(Fe)mg/m ³	10 (Fe) mg/m ³
エチレングリコール		C1000(エアロゾル)mg/m ³
カーボンブラック		3.5mg/m ³

設備対策	: 屋内塗装作業の場合は、自動塗料機等を使用する等、作業者が直接ばく露されない設備にするか、局所排気装置等により作業者がばく露から避けられるような設備にすること。
保護具	
呼吸器の保護具	: 作業を行う場合には、適切な保護マスクを着用すること。
手の保護具	: 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
眼の保護具	: 取扱いには保護メガネを着用する。
皮膚及び身体の保護具	: 取扱う場合には、皮膚を直接曝させないような衣類を着けること。また、化学薬品が浸透しない材質であることが望ましい。

9. 物 理 / 化 学 的 性 質

状態	: 液体
色	: 各色
臭い	: 僅かに溶剤臭
pH値	: - ～ -
沸点、初留点及び沸騰範囲	: -
引火点	: -
燃焼または爆発範囲の上限・下限	: -
蒸気圧	: -
比重(相対密度)	: -
溶解度	: -
n-オクタン-ル/水分配係数	: -
分解温度	: -
粘度	: - ～ - dPa's
その他	: -

10. 安 定 性 及 び 反 応 性

安定性	: 通常の実取り扱い条件においては安定である。 水と混和する(発熱はしない)。
危険有害反応可能性	: 通常の実取り扱いにおいては反応性はない。
避けるべき条件	: 凍結・高温を避ける。
混触危険物質	: 情報なし
危険有害性のある分解生成物	: この製品自体は燃焼しないが、塗膜が燃えた場合、CO等の有害ガスの発生の恐れがある。
その他危険性情報	: 特になし

11. 有 害 性 情 報

製品に関する有害性情報

製品としての安全試験は行っていない

成分の健康有害性情報(危険有害性物質を対象)

成分名	急性毒性					
	経口	急性毒性値 (LD50) (mg/kg)	経皮	急性毒性値 (LC50) (mg/kg)	気体	急性毒性値 (LC50) (ppmV)
結晶性シリカ	分類できない		分類できない		分類対象外	
酸化チタン	区分外		区分外		分類対象外	
エチレングリコール	区分外		区分外		分類対象外	
2,2,4-トリメチルペンタン-1,3-ジオールモノイソブチラート	区分外		区分外		分類対象外	
有機窒素系化合物	区分外		分類できない		分類できない	
チアゾリン化合物	区分5		区分外		分類できない	
アンモニア水	区分4	350	分類できない		分類対象外	

成分名	急性毒性					
	蒸気	急性毒性値 (LC50) (ppm)	急性毒性値 (LC50) (mg /L)	粉じん 又はミスト	急性毒性値 (LC50) (ppm)	急性毒性値 (LC50) (ppmV)
結晶性シリカ	分類対象外			分類できない		
酸化チタン	分類対象外			区分外		
エチレングリコール	分類できない			区分4		
2,2,4-トリメチルペンタン-1,3-ジオールモノイソブチラート	分類できない			区分外		
有機窒素系化合物	分類できない			分類できない		
チアゾリン化合物	分類できない			分類できない		
アンモニア水	分類できない			分類できない		

成分名	皮膚腐食性及び 皮膚刺激性		眼に対する重篤な損傷性 又は眼刺激性		呼吸器感作性	
	皮膚区分		眼区分		固体/液体	気体
結晶性シリカ	分類できない		分類できない		分類できない	
酸化チタン	区分外		分類できない		分類できない	
エチレングリコール	区分2		区分2B		分類できない	
2,2,4-トリメチルペンタン-1,3-ジオールモノイソブチラート	区分外		区分2B		分類できない	
有機窒素系化合物	区分2		区分2A		分類できない	分類できない
チアゾリン化合物	区分1A		区分1		分類できない	分類できない
アンモニア水	区分1		区分1		分類できない	

成分名	皮膚感受性	生殖細胞 変異原性	発がん性	生殖毒性	
					授乳に対する又は授乳を介した影響の追加区分
結晶性シリカ	分類できない	区分2	区分1A	分類できない	
酸化チタン	区分外	分類できない	分類できない	分類できない	
エチレングリコール	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	
2,2,4-トリメチルペンタン-1,3-ジオールモノイソブチラート	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	
有機窒素系化合物	区分1	分類できない	区分2	区分2	
チアゾリン化合物	区分1	分類できない	区分外	区分外	
アンモニア水	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	

成分名	特定標的臓器毒性					
	単回ばく露			反復ばく露		吸引性呼吸器 有害性
	区分1物質	区分2物質	区分3物質	区分1物質	区分2物質	
結晶性シリカ	分類できない	分類できない	分類できない	区分1(呼吸器、免疫系、腎臓)		分類できない
酸化チタン	分類できない	分類できない	分類できない	区分1(呼吸系)	分類できない	分類できない
エチレングリコール	区分1(中枢神経系、血液計、腎臓)		区分3(気道刺激性、麻酔作用)	分類できない	分類できない	分類できない
2,2,4-トリメチルペンタン-1,3-ジオールモノイソブチラート	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない	分類できない
有機窒素系化合物	区分外	区分外	区分3(気道刺激性、麻酔作用)	区分外	区分外	区分1
チアゾリン化合物	区分外	区分外	区分外	区分外	区分外	分類できない
アンモニア水	区分1(中枢神経系、血液計、腎臓)			分類できない	分類できない	分類できない

12. 環 境 影 響 情 報

成分名	水生環境有害性			オゾン層への有害性
	(急性毒性)	(慢性毒性)	log Kow及び 急速分解性	
結晶性シリカ	区分外	分類できない		分類できない
酸化チタン	区分外	区分		分類できない
エチレングリコール	区分外	区分	急速分解性がある	分類できない
2,2,4-トリメチルペンタン -1,3-ジオールモノイソブチ ラート	区分 3	区分	急速分解性がある log kow=3	分類できない
有機窒素系化合物	区分 1	区分		分類できない
チアゾリン化合物	区分 2	区分		分類できない
アンモニア水	区分 2	区分	急速分解性がある	分類できない

- ・漏洩、廃棄などの際には環境に影響を与える恐れがあるので取扱に注意する。
- ・製品や洗浄水が地面、川や排水溝に直接流れない様に対処する。

13. 廃 棄 上 の 注 意

残余廃棄物、
汚染容器及び混装

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
 廃塗料、廃溶剤、容器等の廃棄物は、許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をする。
 容器、機器装置等を洗浄した廃水等は、地面や廃水溝へそのまま流さないこと。廃水処理等により発生した廃棄物についても、廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び関係する法規に従って処理を行うか、委託をすること。空容器は内容物を完全に除去してから処分する。空容器・包装等はリサイクルを推奨する。

14. 輸 送 上 の 注 意

共通

取り扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。

容器に漏れのないことを確かめ、店頭、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にこなうこと。

陸上輸送

消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる輸送方法に従うこと。

海上輸送

船舶安全法、海洋汚染防止法にさだめるところに従うこと。

航空輸送

航空法の定めるところに従うこと。

国連番号

-

15. 適用法令

労働安全衛生法：通知対象物；シリカ
酸化チタン
エチレングリコール

化管法：第一種指定物質
第二種指定物質

その他の有害物質：2,2,4-トリメチルペンタン1,3-ジオールモノイソブチラート
有機窒素系化合物
チアゾリン化合物

16. その他

推奨する用途と制限：住宅基礎仕上塗材のトップコート

記載内容の問合せ先：東京都千代田区永田町2-12-14
(株) エービーシー商会・インサル事業部
電話番号 03-3507-7390 F A X 番号 03-3507-7352

発行又は改訂の理由：新商品発売における発行

引用文献：(社)日本塗料工業会編「原材料物質データベース」
(社)日本塗料工業会編「GHS対応 MSDS・ラベル作成ガイドブック 第3版」
製造メーカーからのSDS情報

本データシートは、作成時または改定時において、製品及びその含有成分等に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱情報等)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。

本製品を当社が認めた材料以外のものと混和、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。